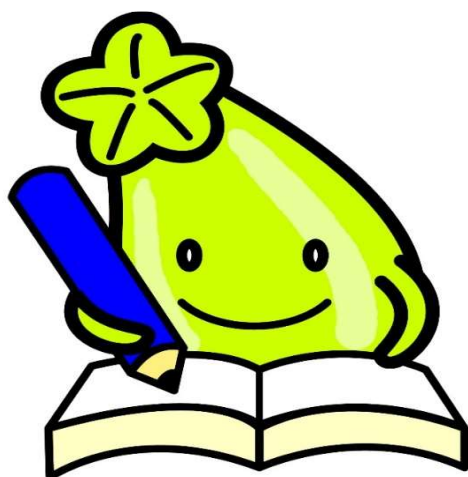


令和4年度 第1回 東成区民アンケート報告書



ご協力いただいた方
ありがとうございました！

令和4年10月実施
大阪市東成区役所

I アンケートの概要

1) 調査の目的

東成区の事業や取組みについて、区民の皆さんから、広くご意見や評価をいただくことで、様々なニーズを把握し、今後の東成区政に反映していくための貴重な情報として活用することを目的として、アンケートを実施しました。

2) 調査のテーマ

令和4年度第1回区民アンケートのテーマは次のとおりです。

■まちづくり ■健康づくり ■在宅医療・在宅介護

3) 調査の実施状況

調査期間 : 令和4年10月11日～10月25日

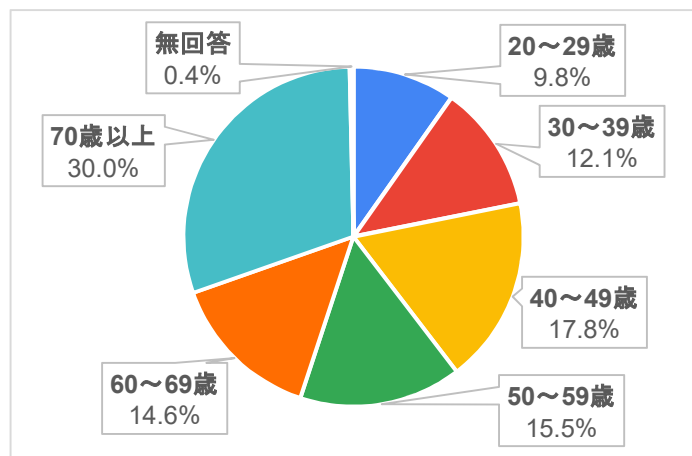
方 法 : 郵送と大阪市行政オンラインシステム

対 象 : 住民基本台帳から無作為抽出した区民1,300名

回答者数 : 563名 (43.3%)

4) 回答者属性

	全体	563
年 齢 別	20～29歳	55
	30～39歳	68
	40～49歳	100
	50～59歳	87
	60～69歳	82
	70歳以上	169
	無回答	2



※アンケート結果については、小数点以下第3位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

※問1から問6までは、回答者属性にかかる質問です。

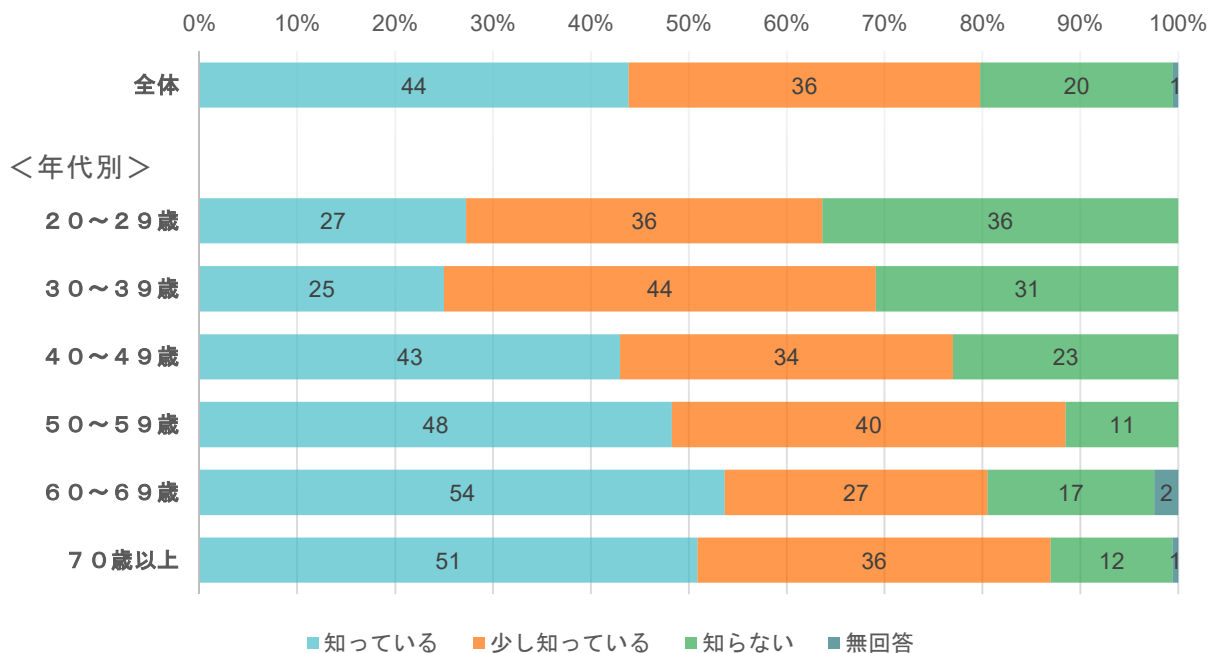
Ⅱ アンケート結果

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

東成区は、戦後の高度経済成長とともに製造業を中心としたモノづくりで発展してきました。そして現在も、優れた技術を持った企業等が数多く存在します。

問7 あなたは、東成区に製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 知っている	247	43.9
2 少し知っている	202	35.9
3 知らない	111	19.7
無回答	3	0.5
回答者数	563	



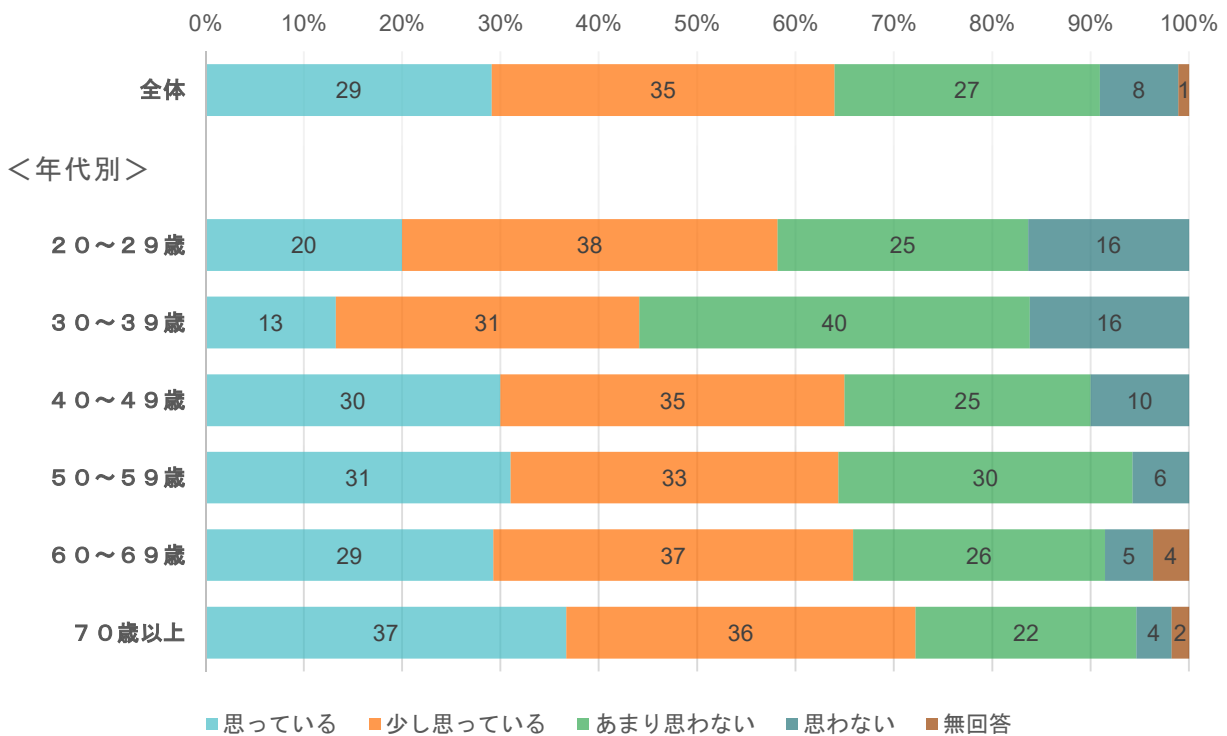
●8割の方が製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを知っている

- ・東成区に製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを「知っている」が43.9%、「少し知っている」が35.9%、合わせて79.8%となりました。
- ・年代別で見ると、40歳代以上で高く、各年代で80%前後となっていますが、30歳代以下では「知らない」が高く、30%を超えています。
- ・東成区には、製造業を中心とした大小さまざまな企業が数多く存在することを、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問8 あなたは、東成区が「モノづくりのまち」である事を誇りに思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 思っている	164	29.1
2 少し思っている	196	34.8
3 あまり思わない	152	27.0
4 思わない	45	8.0
無回答	6	1.1
回答者数	563	



●約6割の方が「モノづくりのまち」である事を誇りに思っている

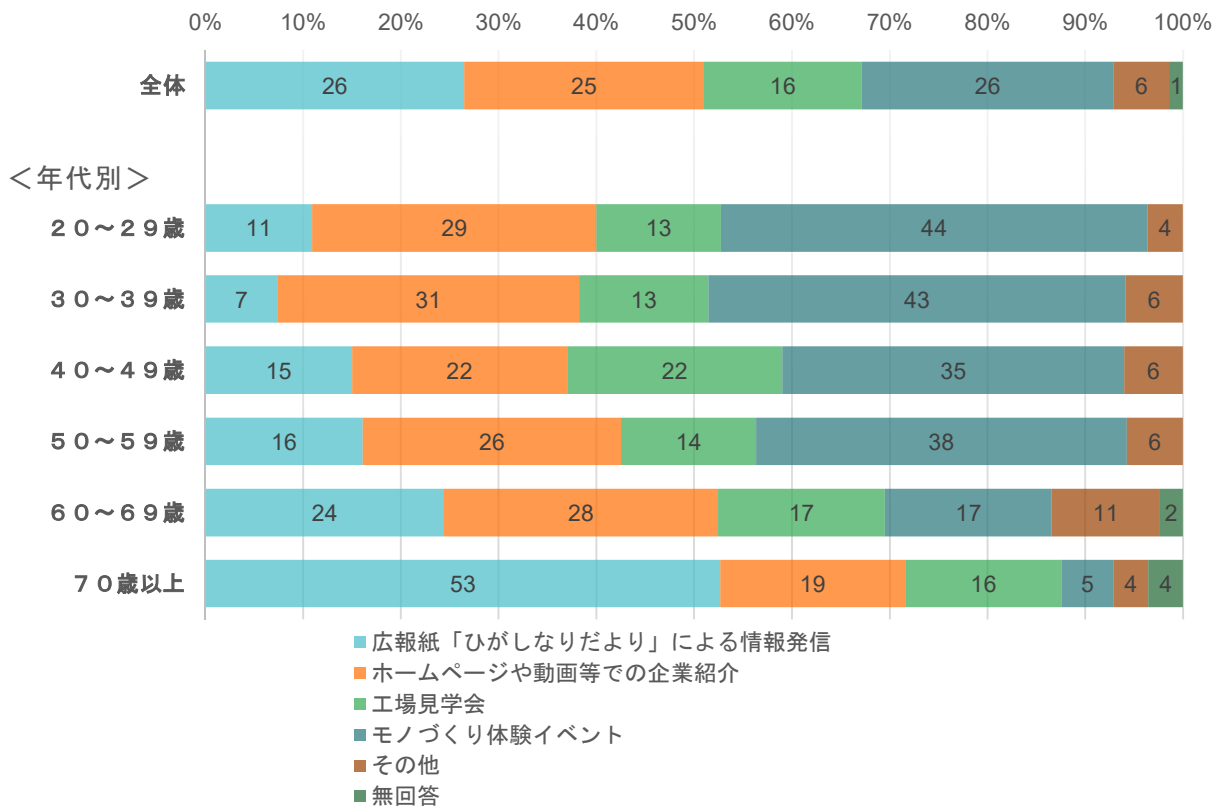
- ・東成区が「モノづくりのまち」である事を誇りに「思っている」が29.1%、「少し思っている」が34.8%、合わせて63.9%となりました。
- ・年代別で見ると、「思っている」、「少し思っている」を合わせた割合は70歳以上で高く、30歳代では「あまり思わない」「思わない」の割合が高く、40%を超えています。
- ・東成区では、地域資源である「モノづくり」にスポットを当てた様々な取り組みを行っています。区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じてさらに情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問9 今後、東成区が「モノづくりのまち」であることを知ってもらうためには、何に重点的に取り組めば良いと思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」による情報発信	149	26.5
2 ホームページや動画等での企業紹介	138	24.5
3 工場見学会	91	16.2
4 モノづくり体験イベント	145	25.8
5 その他	32	5.7
無回答	8	1.4
回答者数	563	

●その他の主な意見
 ・SNSでの情報発信
 ・メディアを活用した情報発信



●広報紙「ひがしなりだより」や「ホームページや動画等での企業紹介」、「モノづくり体験イベント」による情報発信を重点的に取り組むべきと考えられている

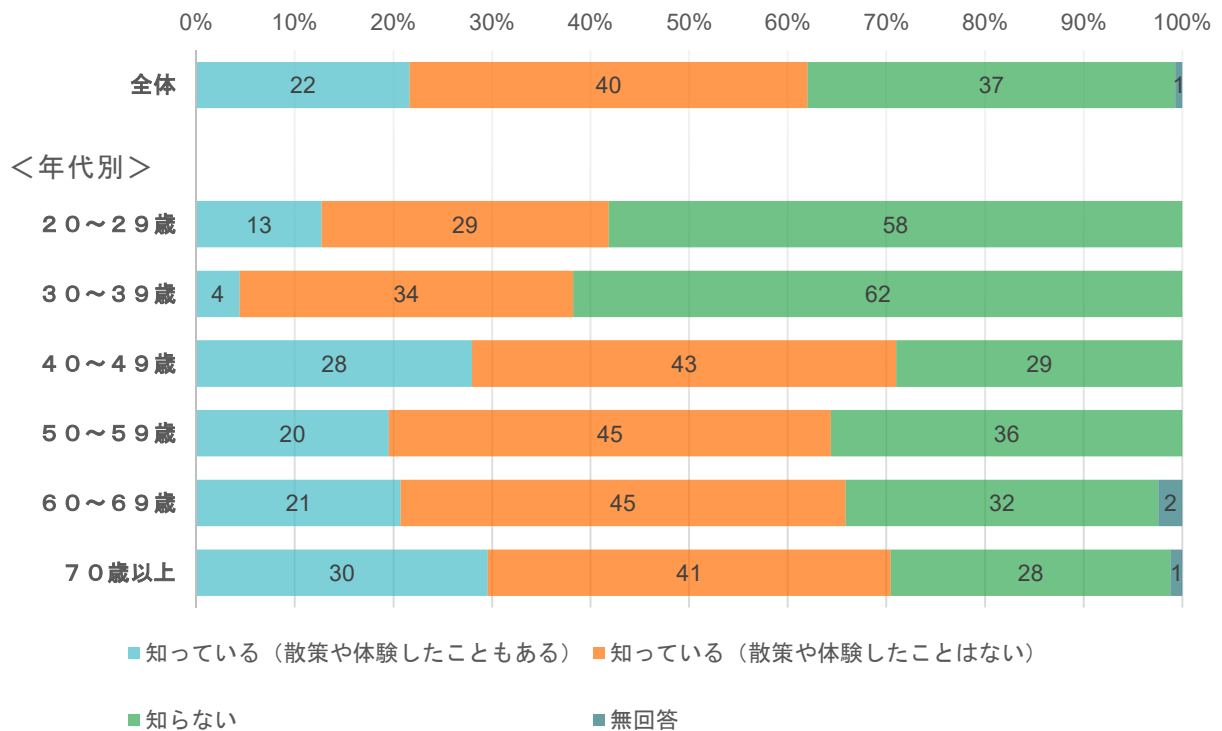
- ・「広報紙『ひがしなりだより』による情報発信」が26.5%で最も多く、「モノづくり体験イベント」が25.8%、「ホームページや動画等での企業紹介」が24.5%と続いています。
- ・年代別で見ると、70歳以上の世代が、広報紙「ひがしなりだより」による情報発信の割合が50%以上と高く、それ以外の世代では「ホームページや動画等での企業紹介」による情報発信の割合が高い傾向にあります。
- ・50歳代以下の世代では「モノづくり体験イベント」などの体験型イベントを回答する人が多い傾向にあります。
- ・東成区が「モノづくりのまち」であることを知ってもらえるよう、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

東成区では地域資源を再発見・再確認し、区内外へ効果的に情報発信を行うことを目的に大阪市立大学(現大阪公立大学)と連携して地域資源の収集やコンテンツ作成を行い、「ひがしなりまち歩きアプリ」を2020(令和2)年7月にホームページに公開しています。
また、伝統工芸として大阪市指定文化財である「深江の菅細工」があります。

問10 東成区には区内のいたるところに古い歴史と文化を物語る遺跡や文化財が残されていることを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 知っている(散策や体験したこともある)	122	21.7
2 知っている(散策や体験したことはない)	227	40.3
3 知らない	210	37.3
無回答	4	0.7
回答者数		563



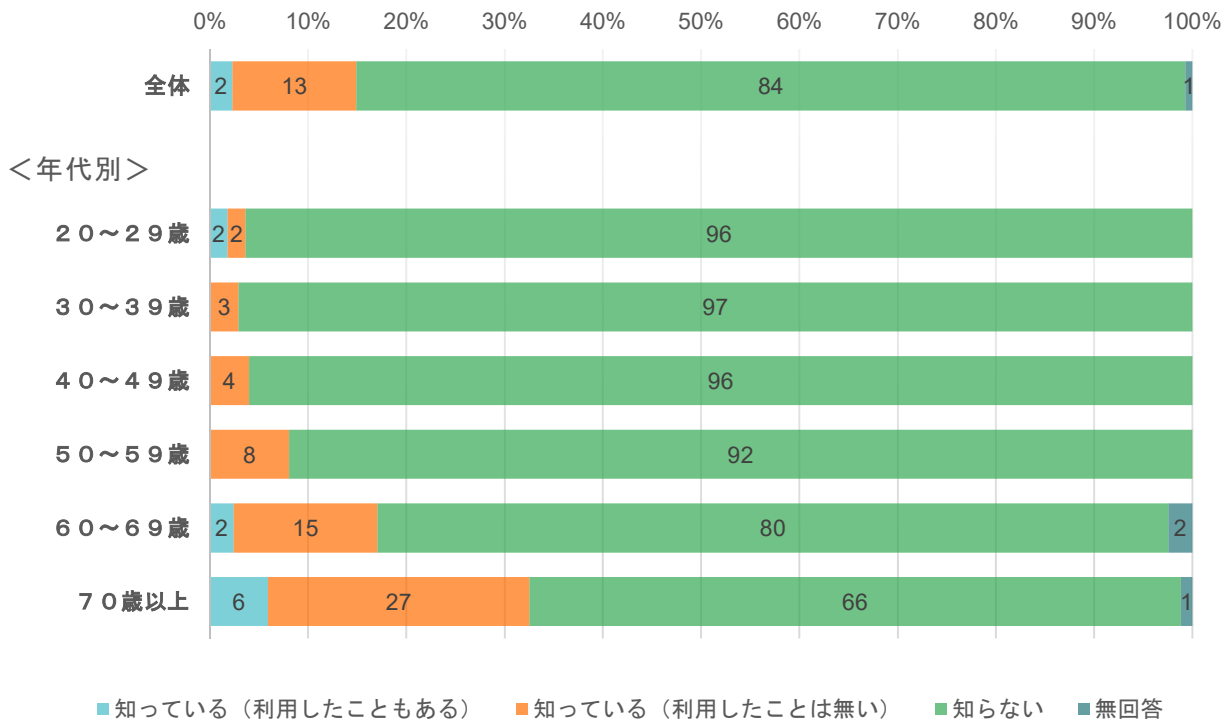
●約6割の人が区内に古い歴史と文化を物語る文化財等が残っていることを知っている

- ・東成区内に古い歴史と文化を物語る文化財等が残ることを「知っており、散策や体験したこともある」が21.7%、「知っているが、散策や体験したことはない」が40.3%となりました。
- ・30歳代以下では、「知らない」が半数以上を占めています。
- ・東成区には、古い歴史と文化を物語る文化財等が残されていることを、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問11 「ひがしなりまち歩きアプリ」を知っていますか？

項目		回答数	比率(%)
1	知っている(利用したこともある)	13	2.3
2	知っている(利用したことは無い)	71	12.6
3	知らない	475	84.4
	無回答	4	0.7
回答者数		563	



●「ひがしなりまち歩きアプリ」の認知度は約1割

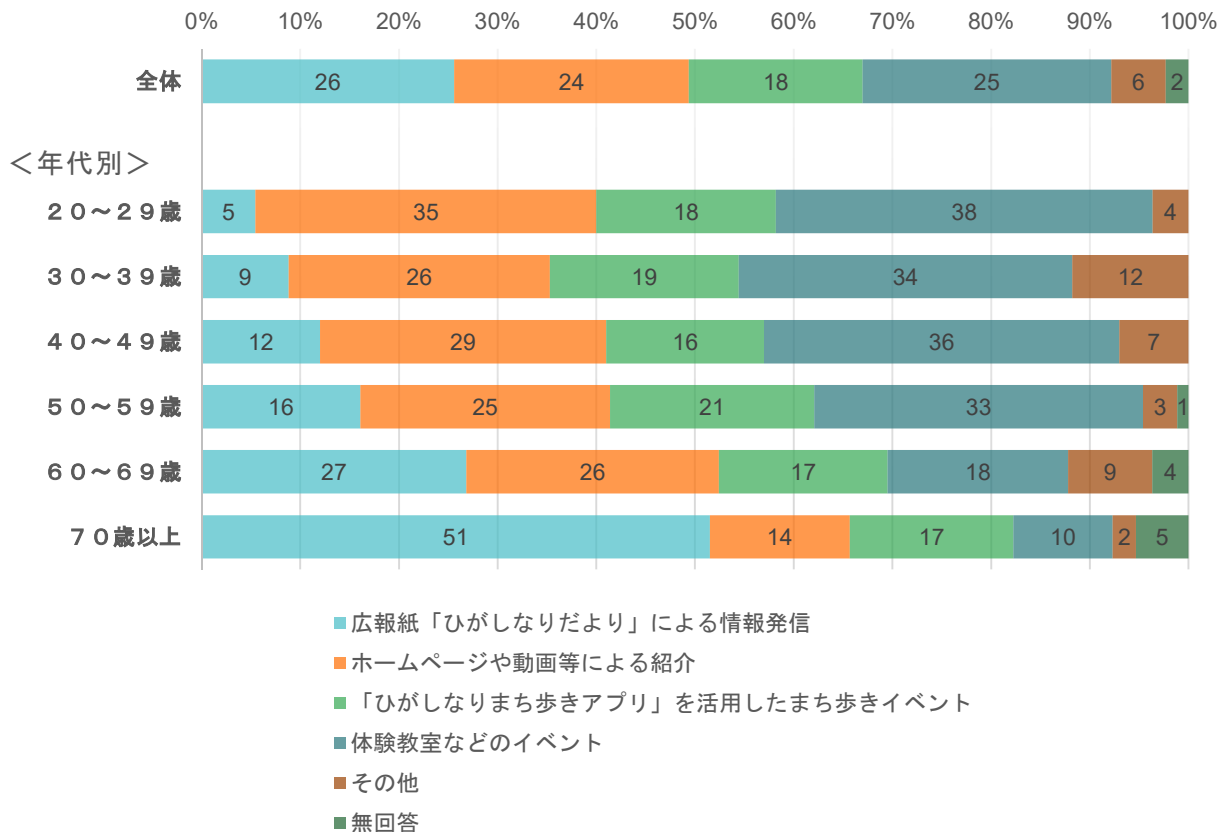
- ・「『ひがしなりまち歩きアプリ』を知っており・利用したことがある」が2.3%、「知っているが、利用したことはない」が12.6%で認知度が進んでいない事が判明しました。
- ・この結果は、コロナ禍による「ひがしなりまち歩きアプリ」を利用したウォーキングイベントが中止になっており、周知があまり進んでいないことが要因と思われます。
- ・「ひがしなりまち歩きアプリ」を活用したウォーキングイベント等の開催や区広報紙「ひがしなりだより」やホームページでの情報発信を通じ、認知度の向上に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問12 今後、東成区の地域資源や伝統工芸について多くの人に知ってもらうには、何に重点的に取り組めば良いと思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」による情報発信	144	25.6
2 ホームページや動画等による紹介	134	23.8
3 「ひがしなりまち歩きアプリ」を活用したまち歩きイベント	99	17.6
4 体験教室などのイベント	142	25.2
5 その他	31	5.5
無回答	13	2.3
回答者数		563

- その他の主な意見
- ・ポイントやクーポン等を発行する
 - ・SNSでの情報発信
 - ・メディアを活用した情報発信
 - ・まちの広告塔を活用



●広報紙「ひがしなりだより」や「ホームページや動画等による紹介」、「体験教室などのイベント」による情報発信に重点的に取り組むべきと考えられている

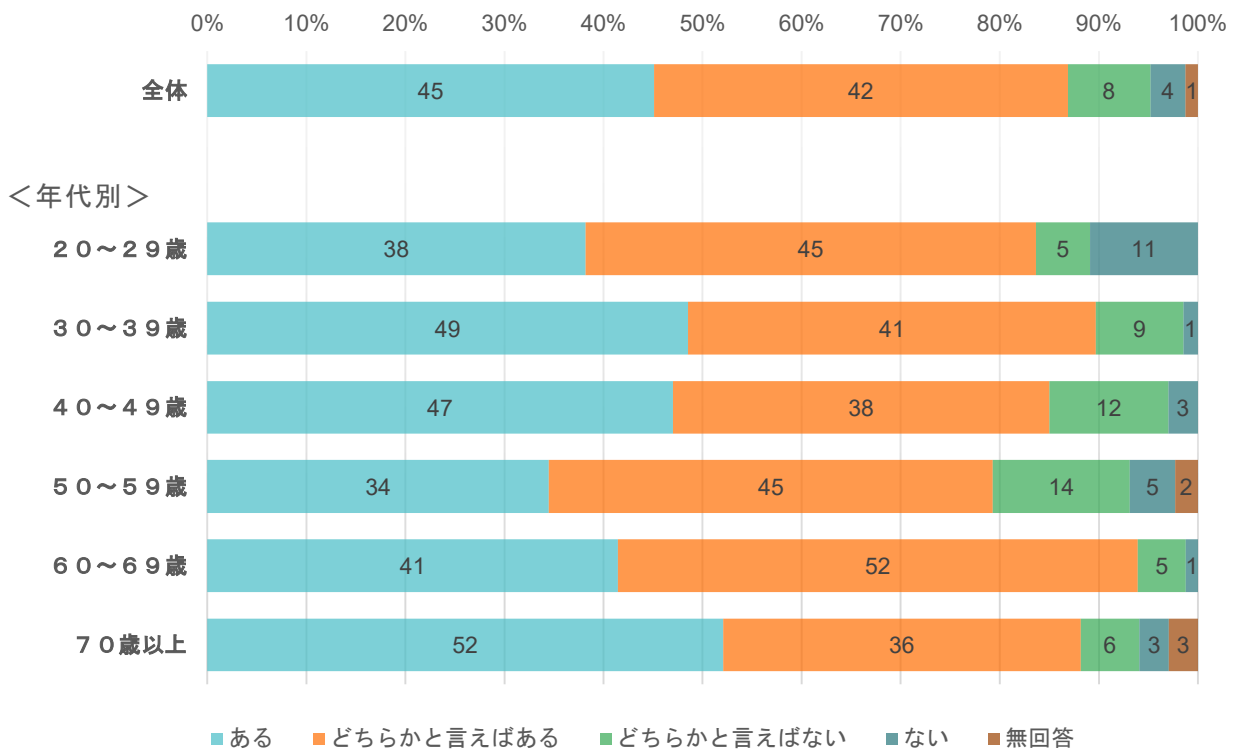
- ・「広報紙「ひがしなりだより」による情報発信」が25.6%で最も多く、「体験教室などのイベント」が25.2%、「ホームページや動画等による紹介」が23.8%と続いています。
- ・年代別で見ると、70歳以上の世代は、広報紙「ひがしなりだより」による情報発信の割合が51%と高い傾向にあります。
- ・50歳代以下の世代では「体験教室などのイベント」による情報発信が最も高い傾向にあります。
- ・東成区には、古い歴史と文化を物語る文化財等の多くの地域資源があることを知ってもらえるよう、区広報紙「ひがしなりだより」や「ホームページや動画等による紹介」、「体験教室などのイベント」等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

東成区では、「健康寿命を延伸するため、区民が主体的、継続的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進する」ことを目的に、①小中学校での食育講座、②特定健診等各種健診の受診率向上、③介護予防事業として「いきいき百歳体操」の普及啓発・継続支援などの取組みを行っています。

問13 あなたは、健康づくりに興味がありますか？

項目	回答数	比率(%)
1 ある	254	45.1
2 どちらかと言えばある	235	41.7
3 どちらかと言えばない	47	8.3
4 ない	20	3.6
無回答	7	1.2
回答者数		563



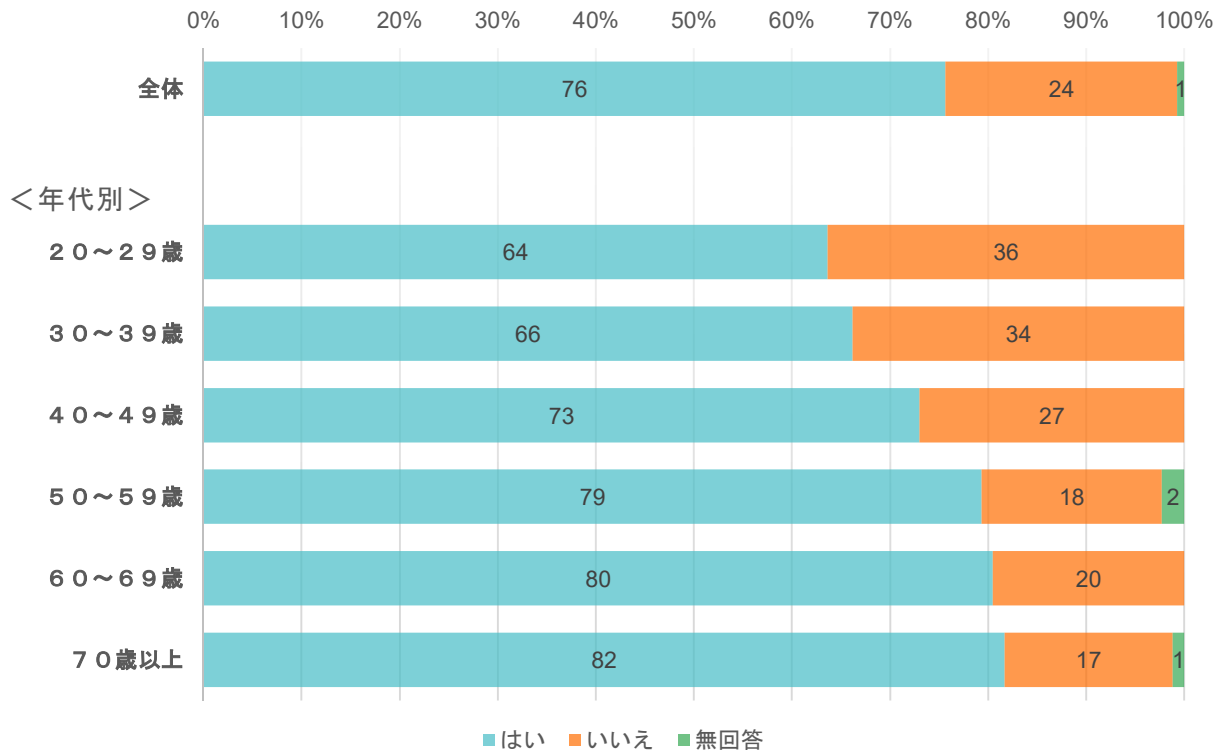
●健康づくりに興味を持つ者の割合が86.9%

- ・各年代別では、20歳代で83%、30歳代で90%、40歳代で85%、50歳代で79%、60歳代で93%、70歳以上では88%の方が、健康づくりに興味を持っています。
- ・区民の健康づくりに対する関心は高いと考えられ、引き続き、区民が主体的、継続的に健康づくりに関心を持ち、生活習慣の改善や病気の予防、運動の実践等に取り組めるような啓発活動を実施します。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問14 あなたは定期的に健診を受けていますか？

項目		回答数	比率(%)
1	はい	426	75.7
2	いいえ	133	23.6
	無回答	4	0.7
回答者数		563	



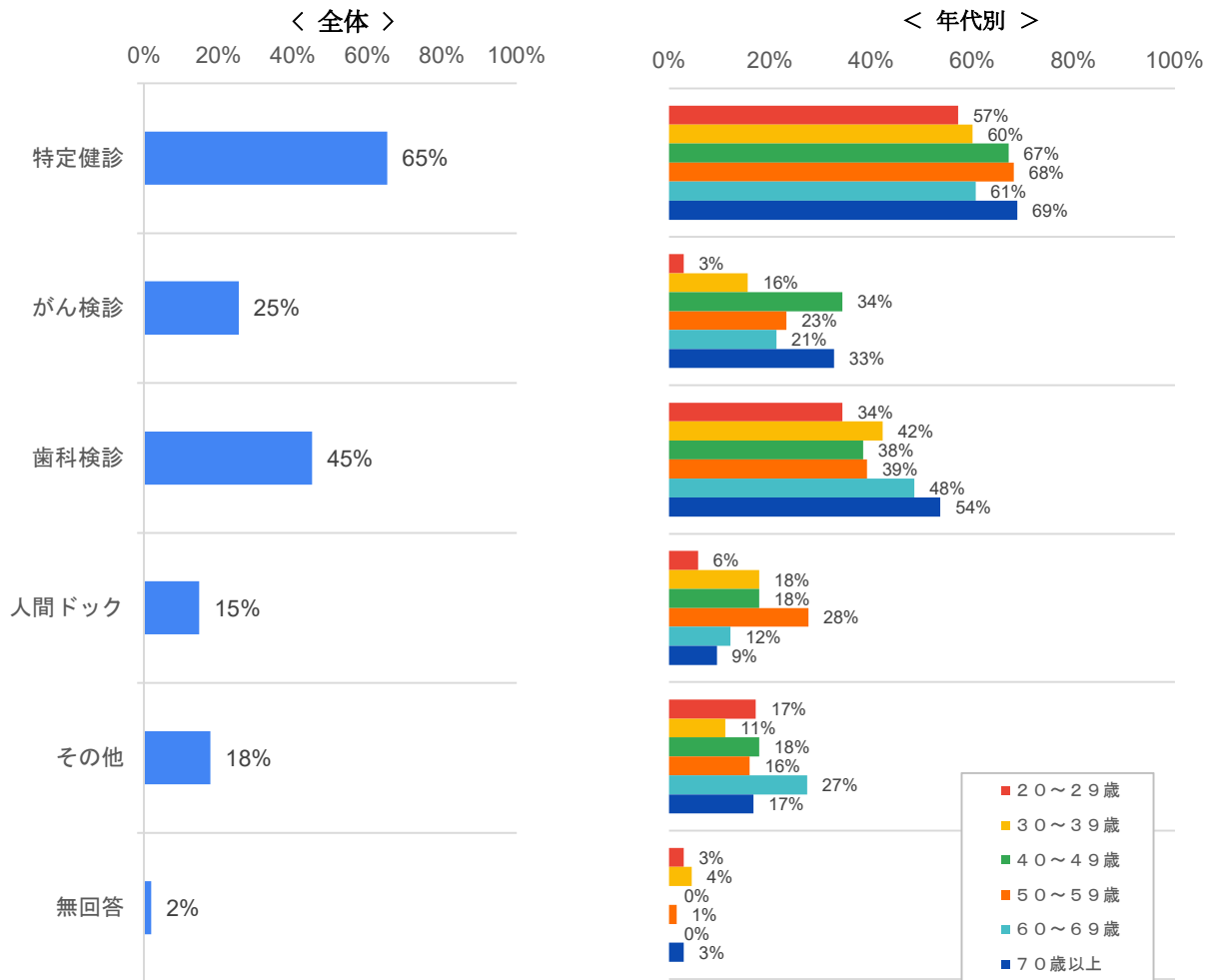
●定期的に健診をうけている区民の割合は75.7%

- ・各年代別では、20歳代で64%、30歳代で66%、40歳代で73%、50歳代で79%、60歳代で80%、70歳以上では82%が「はい」と回答しており、世代が高くなるほど定期的に健診を受けている方が多い結果となりました。
- ・様々な年齢層の方々の受診率向上や生活習慣病の早期発見のために、受診勧奨を行っていく必要があります。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問14「あなたは定期的に健診を受けていますか？」がはいの場合→どんな健診を受けていますか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 特定健診	278	65.3
2 がん検診	108	25.4
3 歯科検診	192	45.1
4 人間ドック	63	14.8
5 その他	76	17.8
無回答	8	1.9
回答者数		426



● 定期的に健診を受けている方のうち、特定健診を受けている区民の割合が65.3%と最も多い

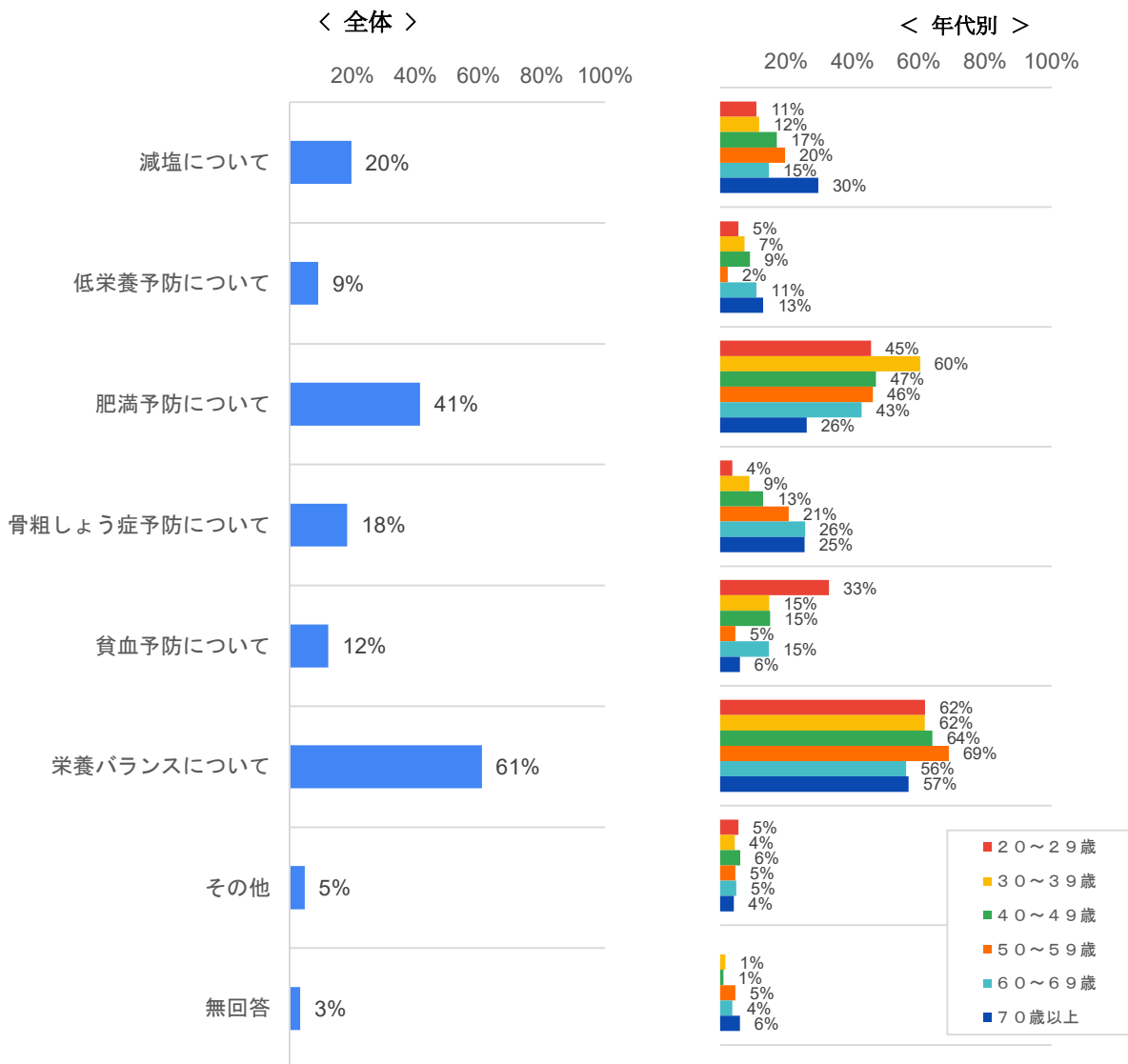
- ・各年代別でも特定健診を受けている割合が最も多い傾向にあります。
- ・各年代別でも歯科検診を受けている割合が多い傾向があります。
- ・各年代別でもがん検診を受けている割合が少ない傾向があります。特に20歳代では3%とかなり低い傾向が見られました。
- ・70歳以上の方は、「その他」としてかかりつけの病院で受けていると回答した方が多い傾向にありました。
- ・早期発見のために健診受診者を増やす取組として、特定健診のみならず、身近な病院や自治体(区保健福祉センター)でのがん検診の実施について周知を図り、健診受診勧奨を行います。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問15 令和4年度の区民アンケートで、区民の方が健康づくりに関して興味を持つ内容を確認したところ「栄養」と「運動」への割合が多いという結果でした。
「栄養」に関して、どのような情報が知りたいと思いますか？【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 減塩について	110	19.5
2 低栄養予防について	51	9.1
3 肥満予防について	233	41.4
4 骨粗しょう症予防について	103	18.3
5 貧血予防について	69	12.3
6 栄養バランスについて	343	60.9
7 その他	27	4.8
無回答	19	3.4
回答者数	563	

- その他の主な意見
- ・食について
 - ・糖尿病について
 - ・個人の状態に合わせた栄養の取り方について



- 「栄養」に関して知りたい情報は、「栄養バランスについて」の割合が60.9%と最も高い
- ・各年代別でも「栄養バランスについて」と回答した方の割合が最も高く、「肥満予防について」も各年代でやや高い傾向がありました。
 - ・70歳以上では「減塩について」と回答した方が30%と他の年代に比べてやや高い結果となりました。
 - ・地域での健康講座や区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ等を通して、栄養バランスにかかわる「食」の情報提供に取り組んでいきます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

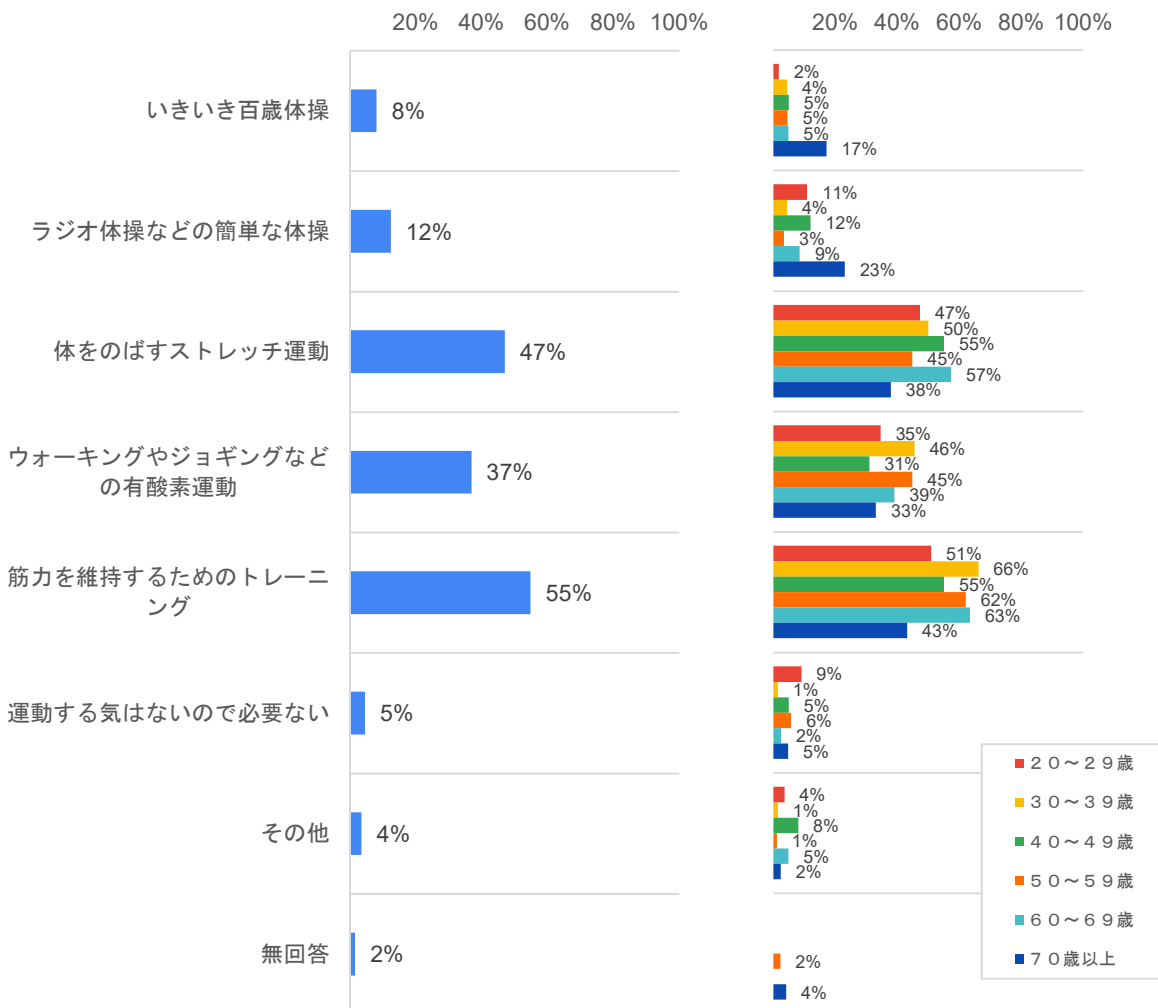
問16 問15に関連して、「運動」に関して、どのような情報が知りたいと思いますか？【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 いきいき百歳体操	46	8.2
2 ラジオ体操などの簡単な体操	70	12.4
3 体をのばすストレッチ運動	265	47.1
4 ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動	208	36.9
5 筋力を維持するためのトレーニング	309	54.9
6 運動する気はないので必要ない	26	4.6
7 その他	20	3.6
無回答	9	1.6
回答者数	563	

●その他の主な意見
・ヨガ
・運動できる場所や施設、

< 全体 >

< 年代別 >



●「運動」に関して知りたい情報は「筋力を維持するためのトレーニング」が54.9%、「体をのばすストレッチ運動」が47.1%、「ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動」が36.9%

- ・全世代で「筋力を維持するためのトレーニング」と回答した方の割合が最も高い一方、全年代で「いきいき百歳体操」と回答した割合が最も低い傾向にあります。
- ・9割以上の方は運動の情報に関心を持っており、「運動する気はないので必要ない」、「無回答」と回答した運動の情報への関心がない方は6.2%にとどまりました。
- ・引き続き、いきいき百歳体操の普及啓発を行いながら、家庭でも取り組める筋力を維持するための運動、体をのばすストレッチ運動、ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動など壮年期、高齢期など各年齢層に応じた情報の提供を、地域での健康講座等を活用して取り組んでいきます。

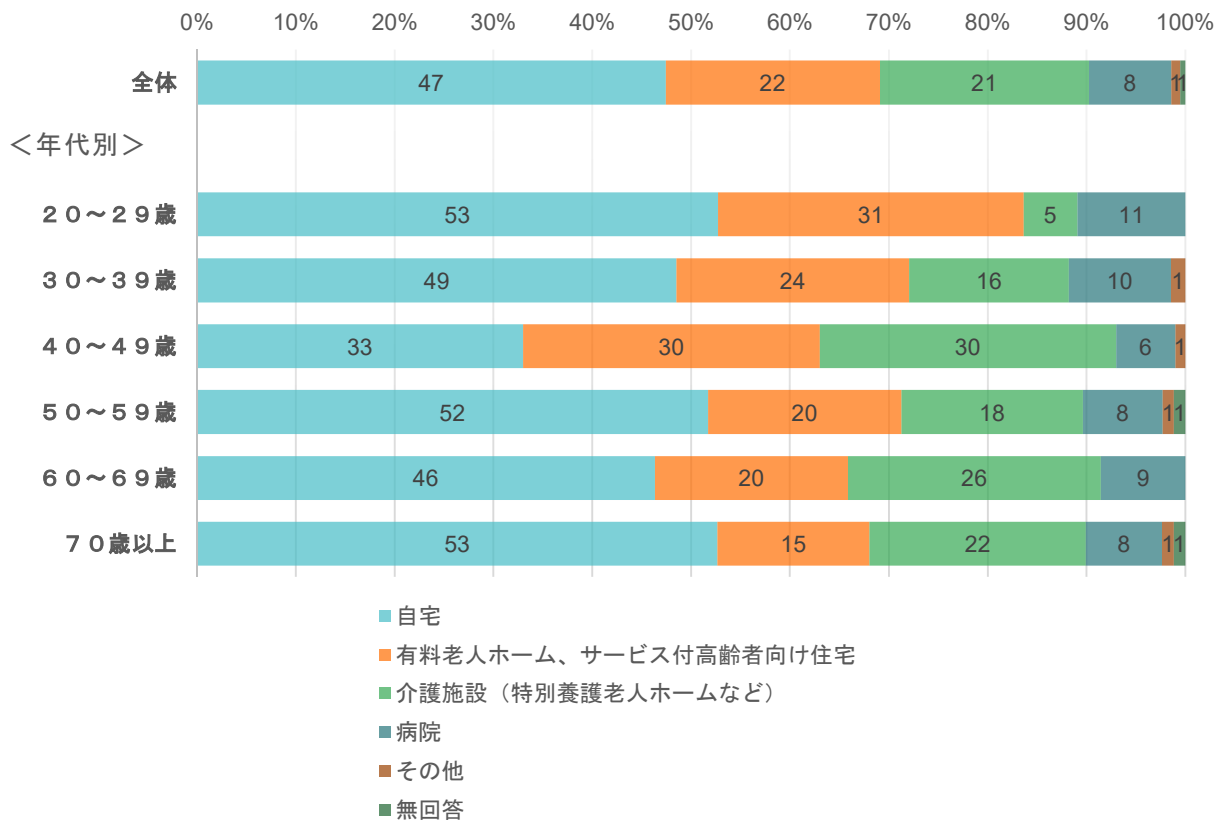
◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、医療と介護の両方を必要とする方々が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けていくことができるよう、医療関係者が訪問して治療等を行う在宅医療と介護の一体的な提供を充実させるため、各関係機関と共に取組みを進めています。

問17 もしも、あなたが医療と介護が同時に必要な状態（入院の必要はないが、通院するのは困難な状況）になった場合、どこで過ごしたいですか？

項目	回答数	比率(%)
1 自宅	267	47.4
2 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅	122	21.7
3 介護施設（特別養護老人ホームなど）	119	21.1
4 病院	47	8.3
5 その他	5	0.9
無回答	3	0.5
回答者数	563	

●その他の主な意見
・分からない



●自宅で過ごしたい方が半数近くを占める

- ・「自宅」が47.4%と最も多く、「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅」が21.7%、「介護施設（特別養護老人ホームなど）」が21.1%の割合で次に続いています。
- ・医療と介護が同時に必要となった場合、いずれの年代も自宅で過ごしたいと考えている方が最も多いという結果になっています。
- ・40歳代では「自宅」「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅」「介護施設（特別養護老人ホームなど）」がほぼ同じ割合となっています。

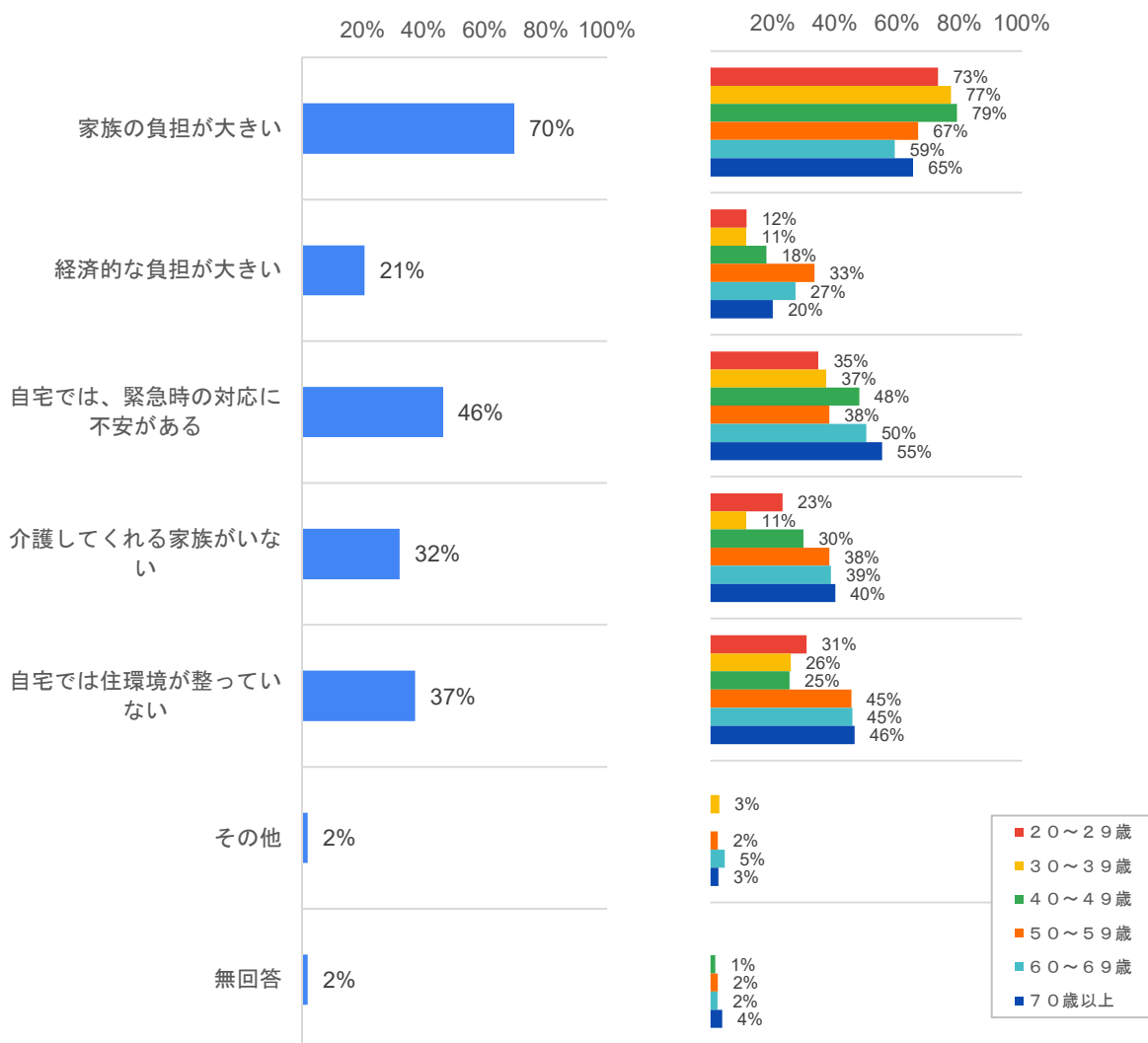
◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問18 問17で「1 自宅」以外の回答をした方にお聞きします。なぜ、自宅以外で暮らしたいと思いますか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 家族の負担が大きい	206	69.6
2 経済的な負担が大きい	61	20.6
3 自宅では、緊急時の対応に不安がある	137	46.3
4 介護してくれる家族がない	95	32.1
5 自宅では住環境が整っていない	110	37.2
6 その他	6	2.0
無回答	6	2.0
回答者数		296

< 全体 >

< 年代別 >



●自宅以外で暮らしたい理由として「家族の負担が大きい」が69.6%、「自宅では、緊急時の対応に不安がある」が46.3%
 ・年代別でみると、全ての年代で「家族の負担が大きい」が最も多く、20～40歳代ではその割合が高い傾向があることが分かります。

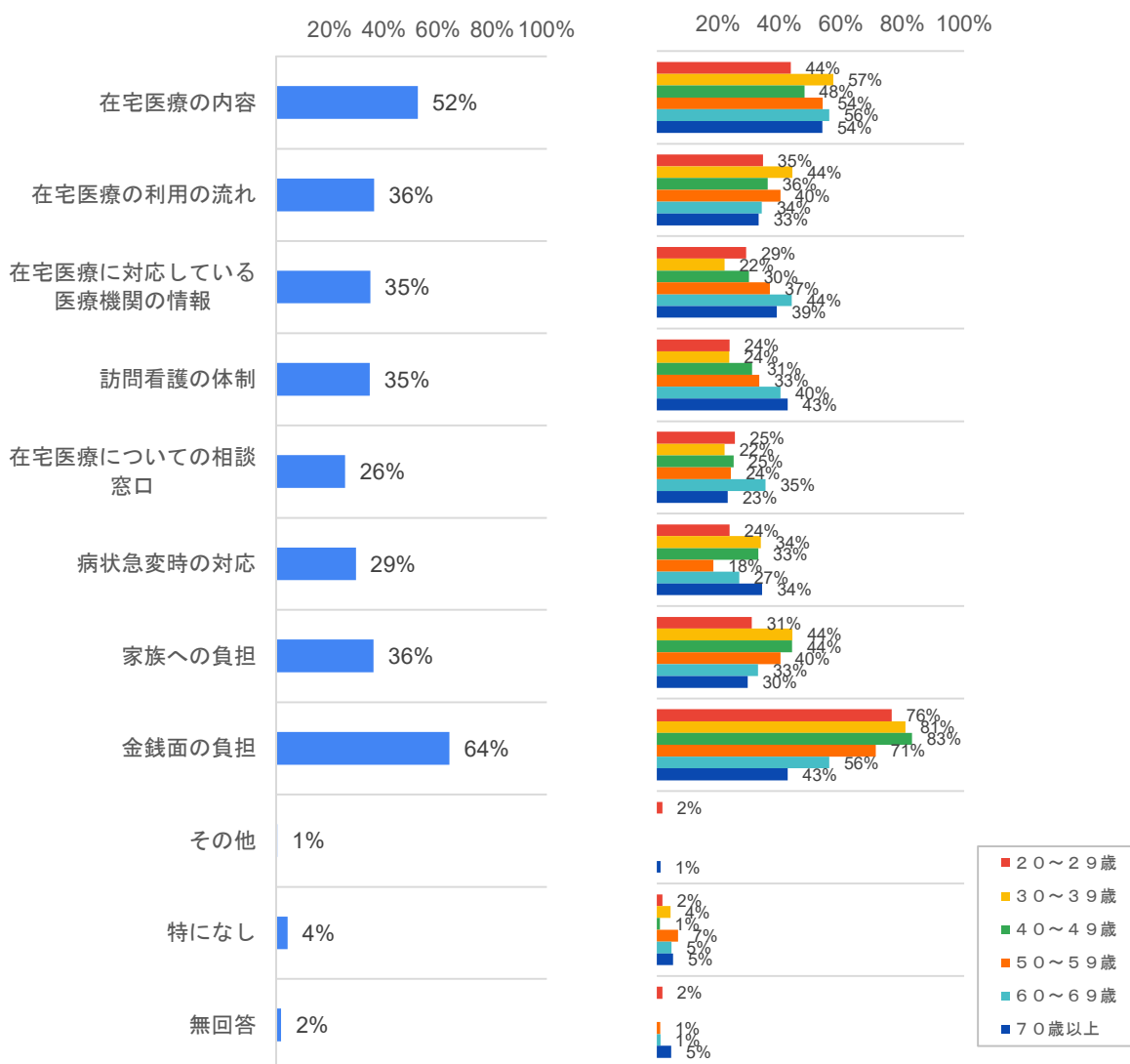
◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問19 あなたが在宅医療を受ける場合、知りたい情報は何か？【4つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 在宅医療の内容	295	52.4
2 在宅医療の利用の流れ	204	36.2
3 在宅医療に対応している医療機関の情報	196	34.8
4 訪問看護の体制	195	34.6
5 在宅医療についての相談窓口	144	25.6
6 病状急変時の対応	166	29.5
7 家族への負担	203	36.1
8 金銭面の負担	361	64.1
9 その他	3	0.5
10 特になし	24	4.3
無回答	11	2.0
回答者数	563	

< 全体 >

< 年代別 >



●在宅医療を受ける場合に知りたい情報は「金銭面の負担」が64.1%

- ・「金銭面の負担」が64.1%、「在宅医療の内容」が52.4%と次に続きます。
- ・20～50歳代で「金銭面の負担」が知りたい割合がやや高い傾向があります。
- ・今後も講演会や地域講座(出前講座)等を通じて、在宅医療や介護に関する情報を幅広くお知らせしていきます。

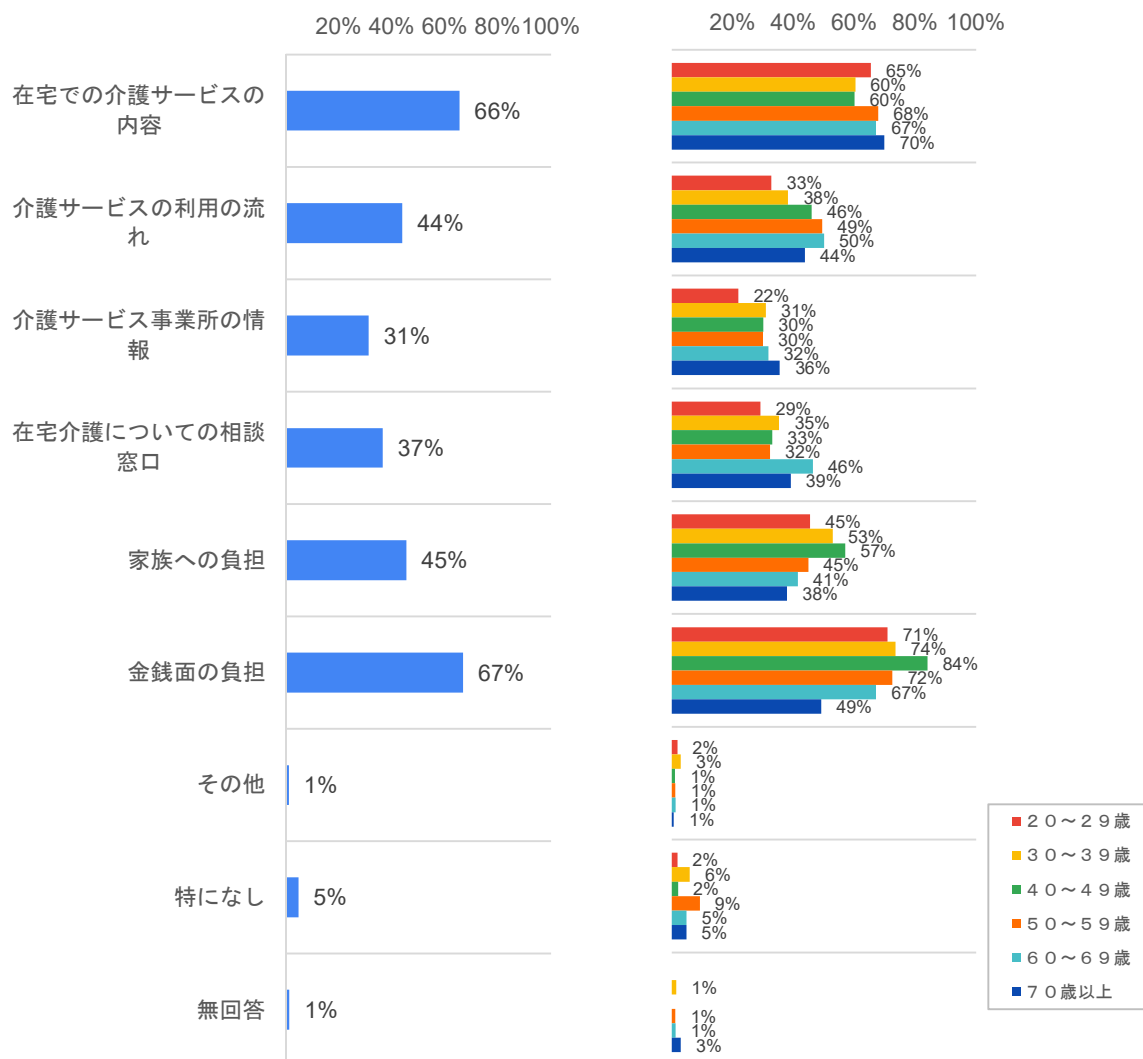
◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問20 あなたが在宅介護を受ける場合、知りたい情報は何か？【4つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 在宅での介護サービスの内容	369	65.5
2 介護サービスの利用の流れ	248	44.0
3 介護サービス事業所の情報	176	31.3
4 在宅介護についての相談窓口	206	36.6
5 家族への負担	256	45.5
6 金銭面の負担	376	66.8
7 その他	7	1.2
8 特になし	27	4.8
無回答	8	1.4
回答者数	563	

< 全体 >

< 年代別 >



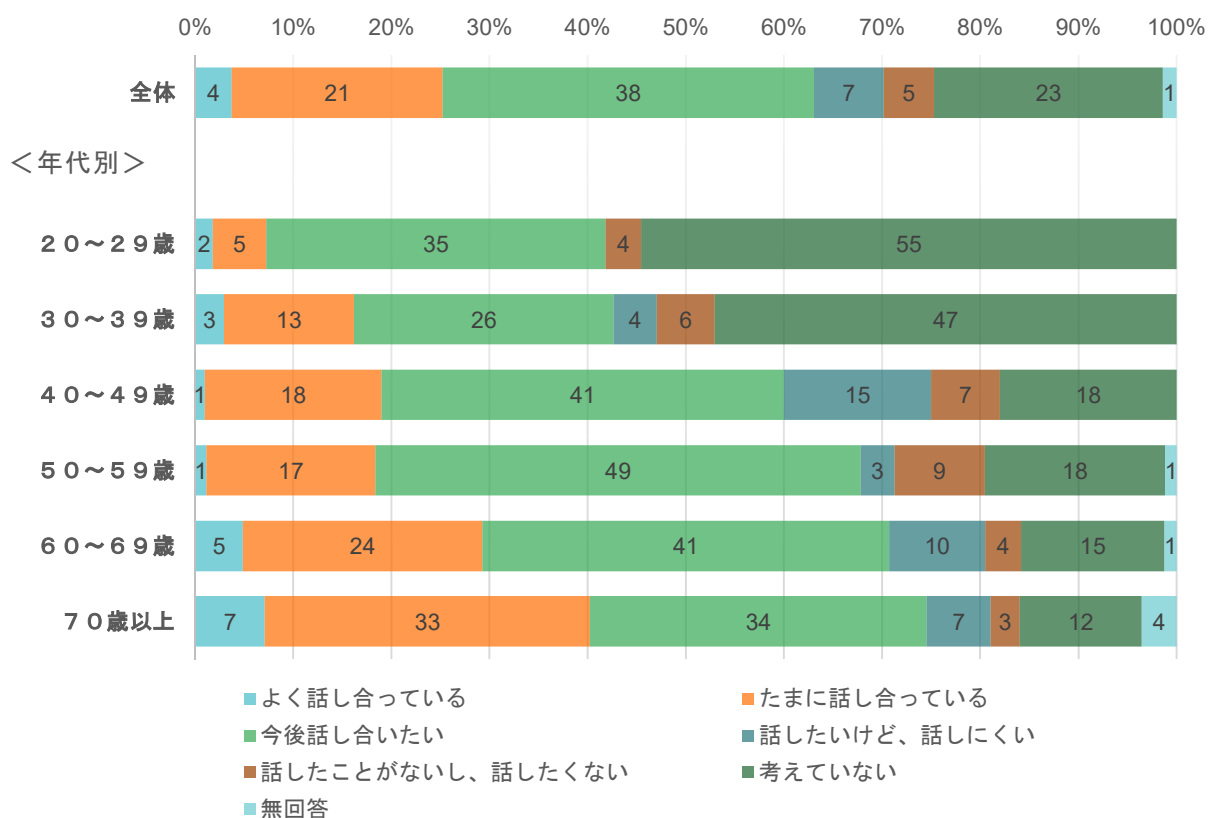
●在宅介護を受ける場合に知りたい情報は「金銭面の負担」が66.8%、「在宅での介護サービスの内容」が65.5%とほぼ同率が多い

- ・年代別でも、各項目の割合がほぼ拮抗していることがわかります。
- ・今後も講演会や地域講座(出前講座)等を通じて、在宅介護や医療に関する情報を幅広くお知らせしていきます。

◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問21 あなたは万が一に備えて、人生の最期が近くなった時の医療や介護の希望について、
家族や信頼できる人と話し合ったことがありますか？

項目	回答数	比率(%)
1 よく話し合っている	21	3.7
2 たまに話し合っている	121	21.5
3 今後話し合いたい	213	37.8
4 話したいけど、話しにくい	40	7.1
5 話したことがないし、話したくない	29	5.2
6 考えていない	131	23.3
無回答	8	1.4
回答者数		563



●話し合っている方の割合25.2%

- ・「よく話し合っている」が3.7%、「たまに話し合っている」が21.5%となっており、すでに話し合っている方は25.2%にとどまっています。
- ・「今後話し合いたい」が37.8%「話したいけど、話しにくい」が7.1%となっており、話し合いの必要性については認識されているものの、まだ話し合うまでには至っていない方が4割いることが分かりました。
- ・「考えていない」が23.3%となり、20～30歳代では約半数がまだ考えていない傾向となりました。
- ・40歳代以上では7割以上の方が話し合いの必要性について認識しており、60歳代以上では3割以上がすでに話し合っている結果となりました。

自由意見欄のご意見等

※ご意見やご要望をわかりやすく掲載するために、一部抜粋や修正を行っています。

<まちづくりについて>

- ・高齢になっても住みやすい町づくりをしてほしい。
- ・子どもが楽しめる行事が増えてほしい。室内遊戯場が欲しい。
- ・全ての人が満足できるよう、交流できる場が必要だと思います。
- ・一人生活が困難かと思われる状況に差し掛かった際の信頼出来る相談窓口は知っておきたい。
- ・コロナ禍ということもあり、他の住人の方と知り合える機会がないのが残念です。
- ・東成区も高齢化が進んでいるので、県外から若年層が転入しやすい様なアイデアを考えて欲しい。
- ・町に緑を増やしてほしい。
- ・モノづくり体験や見学会など企業と協力し合い、未来を担う東成の子ども達に様々な経験をして興味を持って欲しい。

<在宅医療・在宅介護について>

- ・高齢者が増々多くなってくるので医療介護の充実をお願いしたいです。
- ・「区民だより」などで、「介護・医療」を特集して頂き、区民が利用できるサービスなどを分かりやすく教えてほしい。
- ・在宅介護や在宅医療に関する情報をわかりやすく発信してほしい。
- ・見守りだけでも介護サービスにもネットサービスを取入れて簡素化してほしい。

<その他>

- ・他の区役所に比べて小さくて汚い。
- ・東成区の町会（地域振興会）は、充実していると思います。
- ・区の情報をもっと積極的にSNSで発信してほしい。
- ・子育て支援をもっと充実させてほしい。

掲載しているものの他にもたくさんのご意見等をいただいております。ご協力ありがとうございました。いただきましたご意見等を参考にさせていただき、東成区政に活かしてまいります。

区民アンケートに関しまして、ご意見やご不明な点等がございましたら、下記の連絡先までお問合せください。

【お問合せ先】東成区役所総務課（総合企画担当） TEL:06-6977-9683



東成区の情報はこちらでも発信しています！

LINE
(防災)



Twitter



facebook
(まちの魅力)



facebook
(子育て)

